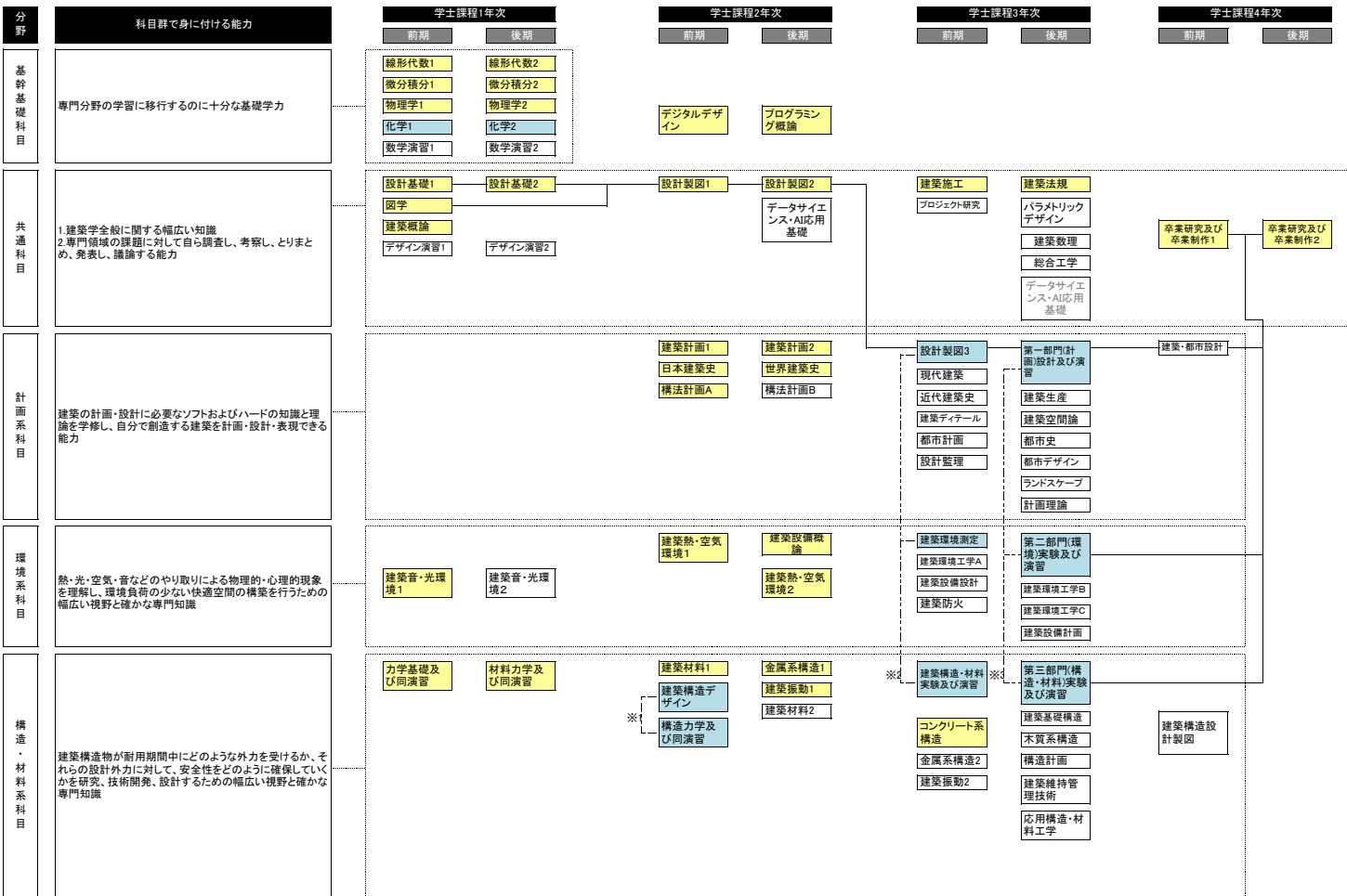


工学部 建築学科

人材育成等に関する目的

建築学科は、計画・環境・構造の三分野を専門教育の柱として位置付け、バランスの取れた総合的な教育を通して、真に社会に貢献できる人間性豊かな技術者・設計者等となるための学問的基盤を身に付けた人材を育成する。

- カリキュラム・ポリシー
1. 建学の精神と、「自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造」という教育研究理念に基づいて、建築学を通して社会に貢献できる人材の育成を目標に、幅広い基礎知識と高度な専門知識の基盤を備えるための学士(工学)の教育課程を構成する。
 2. 真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、厳格な教育課程を実施する。
 3. 段階的な知識の修得を促すために、一般教養科目の開設を「基礎科目」、建築学分野の専門知識、技能を習得し、技術者・設計者・研究者等に必要な能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。
 4. 建築学分野で活躍するためのキープ教育や、国際化、コミュニケーション能力、課題発見・解決力、論議力、論理的思考力、論議能力を養う内容を含む学習機会を提供する。
 5. 「一般教養科目」では、自然・人間・社会を幅広く理解する能力、判断力・行動力を含む授業科目を効果的に配置する。
 6. 基礎教育においては、状況に応じた柔軟なクラス編成を取り入れ、学習効果を高める主体的な学びを促す教育を行う。
 7. 基礎科目では、授業より発展的学習科目、専門基礎科目の履修科目を併用し、併せて学生が自ら学ぶ時間を確保し、基礎学力を強化した上で、「専門科目」との接続を図る。
 8. 「専門科目」では、授業の他に、多くの実験・実習・演習等の授業科目を重点的かつ効果的に組み合わせることで専門分野の知識と技術を高め、併せて他の授業科目との関連や学理探求の方法を学び、建築学分野の専門家としての基盤を醸成する。
 9. 学士課程の卒業認定として、最終学年中に卒業研究・卒業制作(実習)、課題の分析・調査、問題解決の手段を学ぶことで、建築及びその関連分野の独立した技術者・設計者として問題発見・解決能力の育成を図る。
 10. 自身の専門分野を超えて幅広く関心のある科目を履修できるよう、他学部・他学科の科目の履修や大学院科目の先行履修を可視とし、学生の学習意欲の向上を図り、多様な学習ニーズに応える教育課程とする。



必修科目
 選択必修科目
 選択科目

※1 2科目中1科目選択必修
 ※2 3科目中2科目選択必修
 ※3 3科目中1科目選択必修